

非常にハイカラで、歐化熱が高かつたのであります。何しろ鹿鳴館時代でしたから、誰も彼も開化の魁たることを努めたのであります、それで幼稚園へ通ふ幼児なども大抵は洋服を着てゐました。お茶の水の幼稚園なども餘程西洋風の傾きを持つてゐたのであります。幼児の遊んだ遊園は後になつて考へると西洋の郊外の模様を聯想されるやうなつくりになつてゐました。

幼稚園時代のことを考へるとピアノの音が耳に聞えて來ます。さうです、幼稚園のおもひでは一面から言ふとピアノの音色です。小さい時分に日本樂も随分聞いた筈であります。今耳に残つてゐてその音を聞くと幼児の頃を思ひ出すといふのはピアノの音であります。幼稚園でマーチを奏する時に用ゐたピアノの音はあの頃の空氣を持つて一つ一つに高く鳴り出るのであります。(文責在記者)

## ○御題海邊の松

彦根幼稚園長 中澤とめ子作

磯の松清き水面に影うけて  
浪のまに／＼緑ながるゝ

# $\frac{2}{4}$

1	5̣		1	2	3		5	5̣	5̣		3	5	6	5	
イ	ソ		ノ	マ	ツ		キ	ヨ	キ		ミ	ノ	モ	ニ	
3	3	2	2		5—		5̣	6̣	5̣		1	2	3	2	
カ	ゲ	ウ	ケ		テ		ナ	ミ	ノ		マ	ニ	マ	ニ	
1	6̣	5̣		1	2	2	3		1—						
ミ	ド	リ		ナ	ガ	ル	—		ル						